

技術科

1 年 【35時間】

目 標	技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
学 期	単元名・教材名等	達成したい主な姿【評価の観点】
1	<ul style="list-style-type: none"> ・技術分野のガイダンス ・身の回りの材料と加工の技術 ・木材, 金属, プラスチックの特性 ・材料と加工の技術の工夫 ・材料に適した加工方法 ・丈夫な製品を作るために ・問題の発見, 課題の設定 ・製作品の構想, 設計 ・製図 ・製作の計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学年間の技術分野の学習に見通しを持ち, 主体的に学習に取り組もうとしている。(主) ・身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。(知技) ・材料と加工の技術に込められた工夫点について考えている。(思判表) ・主体的に材料と加工の技術について考え, 理解しようとしている。(主) ・「技術の見方・考え方」を働かせて, 問題を発見し, 自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思判表) ・製作に必要な図の描き方を理解し, 図に表すことができる技能を身に付けている。(知技)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・木工作品の製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で適切な製作ができています。(知技) ・検査・修正をすることができる技能を身に付けている。(知技) ・主体的に授業に参加し, 意欲的に製作を行うことができる。(主) ・製作の過程や問題解決の結果を評価し, 改善及び修正する力を身に付けている。(思判表) ・毎時間の振り返りにおいて, 進捗の確認と計画の修正ができています(主) ・振り返りにおいて製作の中で理解したことや課題について記述できている(思判表)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の評価, 改善・修正 ・持続可能な社会の構築のために, これからの材料と加工の技術について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に主体的に取り組んだり, 振り返って改善したりしようとしている。(主) ・これからの材料と加工の技術について考えている。(思判表)